

太田川ダムだより

発行：静岡県太田川ダム建設事務所 第3号 平成14年12月

平成14年10月29日快晴

いよいよ ダム本体 工事開始です

(安全祈願祭・起工式の挙行)

▼工事開始のスイッチが入りました。



本号の内容

- ・ダム本体工事開始（安全祈願祭・起工式の挙行）
- ・仮排水トンネルの貫通
- ・「第2回太田川ダム環境対策連絡会」の開催
- ・「第15回もりもり2万人まつり」へ出店
- ・水道施設の整備状況
- ・水道Q&A



▲地元・天方幼稚園児の皆さんにより、夢を乗せた紙風船が青空に放たれました。

太田川ダム本体工事の安全を祈願し、起工式を挙行了しました。澄み切った青空の下、事業に協力していただいた地元の地権者を始め、国土交通省、静岡県副知事、地元選出の国会議員、県議会議員、地元市町村長、地元関係者、行政機関、施工業者等約150人が式に出席しました。（次ページに続く）

水道 Q & A

Q1 太田川からの取水はダムの下流からと聞いていますが、どのようにして決めるのですか？

A1 水道水源のダムからの取水方法は、山奥の遠隔地に造られたダムまで取水管等をつけるには多額な費用を伴うことなどから、全国的に太田川と同様にダムの下流で放流水を取水する方法が全体の約2/3程度を占め、一般的な方法となっています。

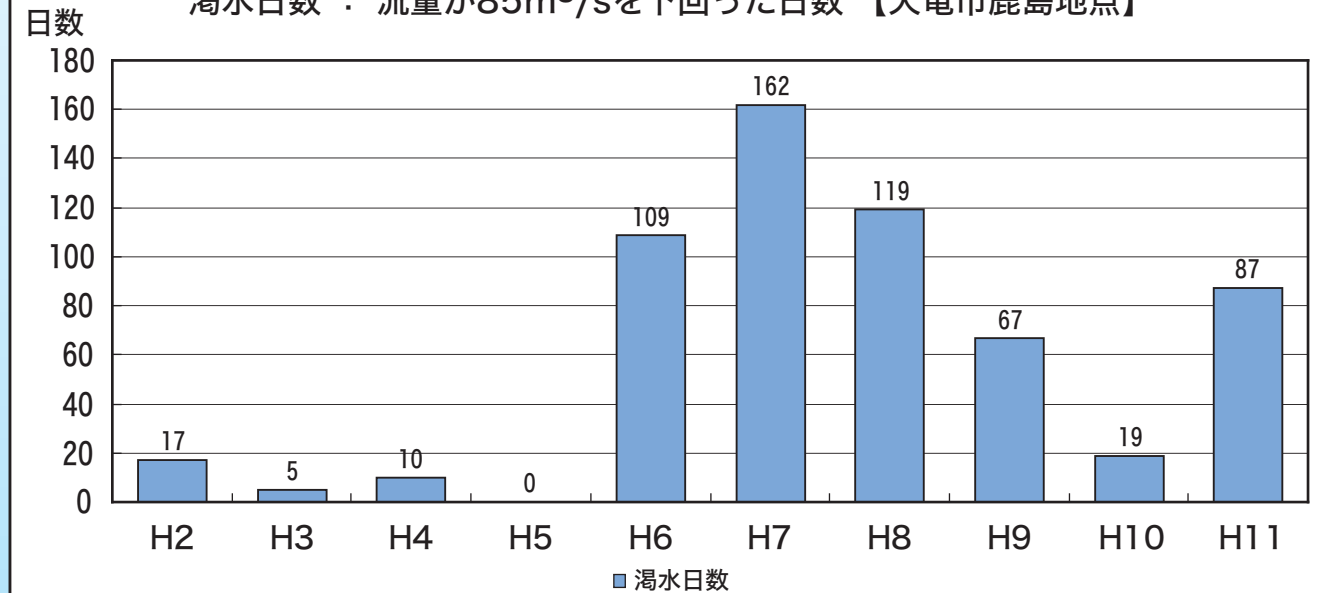
太田川からの取水では、水質調査により水質の安全性を十分確認し、用地確保の地理的条件や経済性等総合的に判断して、取水位置を森町円田に決定しました。

Q2 天竜川から取水している工業用水等の水利権を水道に転用できるのですか？

A2 天竜川の水利権の使用目的を変更（転用）する場合は、一年を通して天竜川に[※]河川を維持するための十分な水量が流れていることが条件となります。

天竜川では近年、毎年のように渇水が発生しており、現状では工業用水の水道への転用は難しいと考えられます。

渇水日数：流量が85m³/sを下回った日数【天竜市鹿島地点】



※河川を維持するための十分な水量のことを、「正常流量」といいます。天竜川では、渇水になると正常流量に比べ1日あたり約200～300万m³も不足する日が続き、各利水者は取水量を制限するなどの渇水対策をおこない、大きな影響が出ないよう調整し乗りきっている状況です。

内容についてご質問等ございましたら…

静岡県・太田川ダム建設事務所
〒437-0215 静岡県周智郡森町森1582-1
TEL：0538(85)2025 FAX：0538(85)0885
http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki/oitagawal/index.html

(水道・水質について)
静岡県・企業局水道室
〒420-8601 静岡県静岡市追手町9番6号
TEL：054(221)2167 FAX：054(251)5381

